



## 取材を終えて

クラストコ編集者が、実際にいろんな場所で体験したからこそ見えた豊橋の魅力とは。



### Profile



クラストコ編集部(左)  
岩下 加奈

豊橋市在住、編集者・ライター。着付けを習い始め、二川宿本陣資料館や神社を巡ることが目標。

クラストコ編集部(中)  
ウガモト ヨナンロ デミ

豊橋市広報広聴課2年目職員。来日して21年目のペルー国籍。豊橋のフォトスポット探しに夢中。

クラストコ編集部(右)  
竹田 佳子

豊橋市広報広聴課6年目職員。豊橋の民話に興味を持ち、地域に語り継がれる話を学び中。

## 学びは、豊橋への愛着を深め、生活を豊かにする

### 深く知ることで、豊橋がより好きになる

**岩下** 取材を通して、豊橋に住んでいるのに知らないことがたくさんあって驚きました。

**竹田** 吉田城、手筒花火、夜店、市電、のんほいパーク、豊橋カレーうどん。どれも知っているはずなのに、「へえ~そうなんだ」が口癖になるくらい、新たな一面を知りました。



**ウガモト** 手筒花火はいつも見る側でしたが、実際に揚げてみて、違う感動を味わうことができました。現場に立ち会うことで、作り手や揚げ手の思いを感じられたのは財産ですね。

**岩下** デミさんが揚げた後、号泣していたのが印象的でした。体感しながら多くを学べたことは、私たちにとてもすごく良い経験になりましたね。

**ウガモト** 夜店の変化にも初めて気がきました。毎年何気なく足を運んでいますが、店の特徴や昨年との違いを気に掛けることで、楽しみ方も変わりますね。

**竹田** 新しいことを学ぶのも大切ですが、今あるものをさらに極めることで、自分の知識が深まるのはもちろん、豊橋をより好きになるきっかけになったと思います。



### 関心を持つと、人とのつながりも深まる

**竹田** 今回案内してくれた方々は、学ぶというより興味を楽しみに変えているなという印象を受けました。豊橋愛が表情や話し方で伝わってきましたね。

**岩下** 興味を持つきっかけは、些細なことからも、次々と視野を広げているように感じました。

**ウガモト** 市電の徳岡さんは元々、移動手段として使っていたものが、車窓から眺める景色の良さにつながり、市電を使って市内を巡る楽しさへとつながっていますね。



**竹田** 吉田城が大好きな斉藤さんは、歴史から城、武将にまで興味の幅を広げています。城好きの友人や文化財センターのボランティア、学芸員といった人とのつながりもできて、充実した生活を送っていると感じました。

**岩下** いきいきと行動する方と話すことで、豊橋の良さを再発見することができました。自分の好きなものを、好きなところから追究することで、愛着を感じると同時に地元豊橋にさらに魅力を感じます。



クラストコ  
学ぶ

### 改めて感じる豊橋で学ぶことの良さ

- 1 知り、深めることで豊橋が好きになる
- 2 興味の幅が広がり、人との関わりや絆が深まる
- 3 学びを楽しみに変えることで、生活が豊かになる

